

## 定期巡回・随時対応型訪問介護看護生協いつかいち 24

### 2025年度第1回 介護・医療連携推進会議議事録

参加者：五日市観音地区民生委員児童委員 北村由美子様  
 城山・五日市観音地域包括支援センター 向井久美様  
 小規模多機能型居宅介護施設佐伯楽々苑管理者 沖田恵美様 堀暢貴様  
 訪問看護ステーションコープ五日市兼生協いつかいち 24 所長 榊井真菜美  
 コープ五日市居宅介護支援事業所管理者 牧野奈緒  
 看護小規模多機能コープ五日市ケアマネジャー 野田勝美  
 看護小規模多機能コープ五日市管理者 永井恵里香  
 生協いつかいち 24 介護主任 和田直子

#### 1. 事業運営の基本方針や理念

要介護になった場合でも、その利用者様が尊厳を保持し可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう定期的な巡回又は随時通報によりその居宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の介護、日常生活上の緊急時の対応その他、安心してその居宅において生活を送ることができるようにするための援助を行い、その療養生活を支援し、心身機能の維持回復を目指します。

事業者は、提供するサービスの質の評価を行う共に定期的に外部の者による評価を受けて、それらの結果を公表し、常にその改善を図ります。

#### 2. 利用状況 (2025/4/20 現在)

##### ・ 介護度

	介1	介2	介3	介4	介5	計	新規	中止	入院	夜間対応
11月	1	2	1	2	1	7				
12月	1	2	1	2	1	7		2		
1月	1	2	0	1	1	6	1	2		
2月	2	1	0	2	0	5	1			
3月	2	0	0	4	0	4	1	1	1	
4月	1	0	0	2	0	3			1	1

##### ・ 地域

千同、三宅、屋代、八幡、五日市中央、美鈴が丘

##### ・ 生活環境

独居1名、同居2名

##### ・ 職員体制

介護職員：常勤 15 名（オペレーター7 名）、嘱託 1 名、パート 7 名

看護師：常勤 3 名、嘱託 1 名、パート 4 名

### 3. 新規受け入れ状況

近隣の居宅介護支援事業所 2 件、法人内の居宅介護支援事業所 4 件、ご家族からの問い合わせ 1 件

### 4. 事故・苦情の発生状況

薬を重複して内服させた

### 5. 日常のサービス内容

- ・ 定期訪問：服薬確認、排泄介助、
- ・ 随時訪問：転倒・転落、排泄介助など

### 6. 事例紹介

- ・ A 様ご夫婦

夫：97 歳、要介護 4、肺がん

妻：90 歳、要介護 5、認知症

定期訪問毎日 3 回（7：30、12：00、17：00）、訪問看護週 1 回、訪問入浴週 1 回

ご夫婦二人暮らし、2022 年 12 月に夫が転倒、入院、2023 年 2 月退院後よりお二人ともベッド上で過ごされていた。ヘルパーが毎日食事の時間に訪問し、排泄介助、食事の配下膳、買い物、掃除、洗濯などの支援をしていた。訪問した時はベッドから椅子に座っていただいていた。夫の病状が悪化し、痰が吐き出せず呼吸や食事が難しくなって声も出せなくなっていた。徐々に食事が減り、体力も落ちてきて、椅子に座ることができなくなった。体調についてその都度訪問看護に相談しながら支援していた。2024 年 12 月 26 日 17：00 ヘルパーが訪問すると、呼吸が止まっておられた。すぐに訪問看護に連絡し対応した。妻は認知症で一人での生活は困難なため次の日入院した。その後夫が亡くなってから 20 日後に病院で亡くなられた。仲良く自宅で暮らしておられたが、お二人ともベッド上の生活となり、施設入所について考えておられたが、やっぱり自宅で過ごしたいといつも言われていた。自宅での生活の支援を最後までさせていただいて感謝しています。

- ・ B 様：女性、81 歳、要介護 1、認知症、高血圧症、ご夫婦 2 人暮らし

高血圧症のため毎日 1 回薬があるが飲んでいないので、毎日家族が電話し内服を促していたが、家族の負担感が増えてきて 2025 年 2 月よりサービスを利用することにされた。サービスに慣れるまで毎日訪問せず週 3 回訪問し服薬確認をすることにした。訪問すると「心配していただかなくても結構です」と玄関から中に入れてもらえず薬の確認ができないことが続いていました。担当者会議で検討し、2025 年 3 月末でサービスは一旦中止することになった。

- ・ C 様：男性、82 歳、要介護 2、上部消化管出血、独居

定期訪問週 3 回（月・水・金）、訪問看護週 1 回

動きにくさがあるが、伝い歩きで自宅内の移動はできて、食事や排せつは自分でできておられた。ヘルパーが週 3 回訪問し買い物代行のみ支援していた。転倒やトイレの失敗が増えてきて、通報機器からの呼び出しが増えていた。訪問するとベッドの回りが尿汚染で着衣も尿汚染で濡れていた。薬も飲んでいなかったため、毎日訪問し排泄介助、服薬確認をすることにした。

7. その他

参加者へ内部評価について説明し、外部評価を依頼した。

次回 2025 年 10 月 28 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 00